

長寿企業の極意

周年イヤーの迎え方 107

社史や理念、事業の意義を見直す機会となる周年をどのように迎えるか。長寿企業から学びます。

ISSEI 街と暮らしを考える。一誠商事株式会社

一誠商事

1972年創業

五十嵐寛が「一誠不動産」を創業し、1979年に一誠商事へと改組。1980年にはそれまでの売買・賃貸仲介に加えて賃貸管理業を開始。2011年に五十嵐寛が代表取締役社長に就任。茨城県内に11の本支店、東京・秋葉原に1支店、計12店舗で事業を展開し、2023年度の管理戸数は24500戸。社員数は332人。

茨城県南・県央エリアを中心に不動産取引を手がける一誠商事が2022年9月に創業50周年を迎えた。「人と街を繋いで50年、そして次の50年へ」というコピーと記念ロゴは、社内公募で選ばれたもの。「ロゴの募集は『絵心がないから…』と敬遠されてしまうのでは、という不安もありましたが、手描きやエクセル、ワードなど、さまざまな方法で応募があり、嬉しい驚きがありました」と話すのは、営業企画課の三津井真理氏。従業員皆が自分ごとにするための意識づけとして、ロゴを刻印した記念名刺も配布された。

社員の手で行動指針を作成

自分ごと化を深める施策として「7つの行動指針プロジェクト」も始動。「当社が掲げる3つの企業理念を、より具体的な行動に落とし込めるよう、全支店・全部署から集まった16人ほどのプロジェクトチームが4か月ほどかけて行動指針としてまとめました」と人事部長の小俣浩氏は語る。20～30代のメンバーが中心となってまとめた行動指針は、社内でも「行動原理がわかりやすくなった」と好評だという。人事の評価制度にも取り入れられた

行動指針を自分ごと化する仕組みづくり  
50周年を機に企業文化を醸成



社員によるプロジェクトチームが作成した行動指針はポスター（右）やアプリ「RECOG」（上）などを通じて社内でも共有された。



ほか、感謝や称賛の気持ちを「レター」で贈り合えるチームワークアプリ「RECOG」を導入し、レターに7つの行動指針のアイコンから該当するものを選んで添える仕組みを採用している。「指針のアイコンがついたレターは毎月100通以上飛び交っています。やりとりは掲示板で可視化できるので、これが浸透していけば、社員同士で感謝を伝え合うことも含めた企業文化として築いていけると思います」（小俣氏）。また、50周年を記念した2本の動画を制作。2022年1月にコンセプトムービーを、4月に記念動画を公開した。コンセプトムービーの目的は50周年の始まりを社内に浸透させること。記念動画は社員の企業理解とモチベーション向上を目的に制作された。「記念動画では、10年、20年と長くかわりを持ってくださっている不動産オーナーさまの思いや担当者とのエピソード、



社史は社員と約3000人の不動産オーナーに配布された。



50th ISSEI Anniversary

人と街を繋いで50年、そして次の50年へ  
社内公募で決定した周年ロゴとコピー。「周年を真摯に考えてくれていることが伝わってきた」と三津井氏。

各部署の社員の姿を紹介しています。オーナーさまからも『一誠商事への思いを話せてよかった』と喜びの声をいただきました」（三津井氏）。

記念動画は50周年式典と社内総会で上映予定だったが、コロナ禍により中止。社内共有のみに留まったものの、一部は企業説明会などで活用されている。

地域貢献施策にも力を入れる

また、地域への恩返しとして、創業の地である土浦市に企業版ふるさと納税を活用してアルミ製スポーツベンチ62台を寄贈。そして2022年7月1日に農業領域を扱うアグリ事業部を発足し、50周年を機に新分野への参入を決めた。「茨城県は北海道に次ぐ農業県。人が生

活する上での三要素である衣・食・住のうち、『住』に加えて『食』の分野でも社会に貢献できたらという思いと、将来のために食料自給率を上げる必要があるのではないかという考えから始めました。2023年の春からさつまいもやトウモロコシの栽培にチャレンジしているところです」（小俣氏）。

1972年に社員ひとり、初年度売り上げ200万円からスタートした同社は、いまや300人以上の社員を抱える企業へと成長した。「当社の要は各社員の『人間力』。周年プロジェクトでも若い世代が活躍してくれました。今後も社員が幸せに働ける環境づくりと人材育成に注力し、さらなる発展を目指します」と小俣氏は語った。



企業版ふるさと納税を活用して土浦市にアルミ製スポーツベンチを寄贈。



小俣氏（写真左端）ら周年プロジェクトの中核を担ったメンバー。

**一誠商事 ISSEI50周年 プロジェクト**  
総務部・人事部・新規事業準備室・営業企画課から選出された7人で構成。

**2021年**  
12月  
▷プロジェクトチーム結成

**2022年**  
1月  
▷コンセプトムービー公開、「7つの行動指針プロジェクト」始動、社史制作開始

4月  
▷50周年ロゴ、コピーを社内公募、記念動画を社内向けに公開

5月  
▷50周年記念ノベルティグッズを来店者や契約者に配布

6月  
▷7つの行動指針が完成

7月  
▷社員への特別休暇を付与、記念名刺を配布、アグリ事業部発足

**Pick UP!**  
コーポレートカラーのグラスを記念品として贈呈

コロナ禍で記念式典が開催できなかった代わりに、日本初のクリスタルガラス専門工場として1934年に創立し、現在は茨城県に本社・工場を持つKAGAMIのスリムグラスを250セット用意。一誠商事のコーポレートカラーである青と赤のペアグラスを、参列予定だった取引先やオーナーに配布し好評を博した。

「わが社の周年事業・プロジェクトを広報会議で取り上げてほしい!」という担当者の皆さま、ぜひ情報をお寄せください。  
kouhou@sendenkaigi.co.jp